

2007年の観察記録

野鳥の月別観察日数

種 類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
1 アオゲラ	19	24	21	24	25	19	3		6	15	16	15	187
2 アオジ				3	2					8	3		16
3 アオバト									1		2		3
4 アカウソ		1		1									2
5 アカゲラ	24	24	25	26	26	24	17	27	23	25	25	24	290
6 アカハラ				2	2								4
7 アトリ			1										1
8 イカル					26	14		4	5				49
9 ウグイス				3		2				7	2		14
10 ウソ		10	15	13								3	41
11 エナガ	22	20	21	21	9			2	10	19	20	20	164
12 オオタカ											1	1	2
13 オオハクチョウ	1	4	7								7		19
14 オナガ			2	14	25	5			5	1	1		53
15 カケス		3	1	8	3				1	6	3	6	31
16 カシラダカ	1	1	1							4		1	8
17 カッコウ					1	19	6		1				27
18 カルガモ				1				1					2
19 カワラヒワ	9	23	27	25	25	25	26	27	21	14	19	13	254
20 キクイタダキ		1								2	14	3	20
21 キジ			1										1
22 キジバト			11	26	26	26	26	25	26	21	10		197
23 キセキレイ								4	7	9	2	1	24
24 キビタキ					19	25	24	13	10	7			98
25 キレンジャク				1									1
26 クロジ					10					1	3		14
27 クロツグミ				1	17	1				5	1		25
28 ゴイサギ											1		1
29 コガラ	24	24	27	25	8				1			2	111
30 コゲラ	23	21	27	26	20	21	22	13	20	24	22	18	257
31 コサメビタキ								5	16				21
32 ゴジュウカラ	24	24	27	26	11	2	1	19	22	16	8	15	195
33 コムクドリ				7	26	18	2						53
34 サンコウチョウ					3	2	2						7
35 サンショウクイ					2	2							4
36 シジュウカラ	24	24	27	26	26	26	25	27	26	26	26	24	307
37 シメ		11	27	26	26	25	5	23	26	26	26	24	245
38 ジョウビタキ			1	1							2	3	7
39 スズメ	24	24	27	26	26	26	26	27	26	26	26	24	308
40 ハンダイムシク					10					1			11
41 ツグミ	5	23	21	5							20	16	90
42 ヲソドリ					1								1
43 トビ	14	14	21	21	17	16	12	10	10	16	14	12	177
44 ノゴマ										1			1
45 ノスリ		1			1								2
46 ハイタカ	11	6	6	9	3	2					13	16	66
47 ハクセキレイ				4	5	19	8	1	2	3		2	44
48 ハシブトガラス	24	24	27	26	26	26	26	27	26	26	26	24	308
49 ハシボソガラス			2			1	1	1		1			6
50 ヒガラ	23	22	27	22	21	16	2		17	19	14	13	196
51 ヒヨドリ	24	24	27	26	26	23	25	24	26	26	26	24	301
52 ヒレンジャク				1	1								2
53 フクロウ		1			3								4
54 ベニマシコ	1												1
55 ホオジロ											1	1	2
56 ホトトギス						5	1						6
57 マヒワ			4	2							7	4	17
58 マミチャジナイ					1						3	1	5
59 ミソサザイ											1	9	10
60 ミヤマホオジロ			1								1	1	3
61 ムクドリ					23	14	2	1	6	12	18	4	80
62 メジロ				7	9	5	8	5	17	23	12	5	91
63 モズ		1	2	1		1	2	2	3	4	2		18
64 ヤブサメ					1		2	1	3	2			9
65 ヤマガラ	24	24	27	26	26	26	26	26	26	26	26	24	307
66 ルリビタキ											3		3
種類数	19	26	30	35	39	30	27	23	29	33	39	32	66

2007年に観察された野鳥は、66種類でした。

2007年のトピックとしてアカウソ、アオバト、ルリビタキ、オソドリが観察されました。いずれも1～数日のみでしたが、ここでの10数年来あるいは初めての記録でした。

通年見られる留鳥は、アオゲラ、アカゲラ、ゴジュウカラ、カワラヒワ、キジバト、シジュウカラ、ヤマガラ、スズメ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ヤマガラなどで、これらはほぼ200日から300日以上観察されました。シメは一応冬鳥とされていますが、夏の間も留まっております。観察日数も245日に達し、幼鳥も観察されていますので、この森で繁殖しているものと考えています。ハイタカがネイチャーセンターの周辺を狩場としており、常に巡回しているようで、シメの数が増えると決まって姿を現します。イカル、オナガは日数は少ないのですが、来る時は集団で現れます。

以上は餌場で与えている「餌」を求めてきているのですが、水場を目的に、あるいは偶然にきているものに、コゲラ、エナガ、ミソサザイ、モズなどが観察されました。

夏鳥としては、キビタキが近くの森に隈なく縄張りを張りめぐらせており、5月から10月の間、どこでも声を聞くことができます。コムクドリも子育てをしており、5月を中心に姿を見せるのですが、夏になると姿を消します。サンコウチョウが近くの森で営巣しているようで、時々さえずりが聞こえ、近くに現れたこともあります。また、旅鳥として、ノゴマやマミチャジナイが春と秋の数日間滞在するのですが、ノゴマは秋にしご確認できませんでした。

冬鳥としては、ツグミ、ウソ、マヒワが比較的多く観察されますが、カシラダカ、ミヤマホオジロ、ジョウビタキ、ベニマシコ、ヒレンジャク、キレンジャクなどはほんの数日観察される程度です。

哺乳動物は、リスがほぼ毎日観察されており、アカネズミ、ハタネズミ、クマネズミなども時々姿を見せます。カモシカも春に巡回しているのが見られます。

雪が積もると、キツネ、ノウサギ、タヌキ、テンなどの足跡がたくさん見られるのですが、昼に姿を見せることはめったにありません。

今年は、ドングリや木の実が大豊作で、雪が積もってもツルウメモドキ、ニシキギ、ナナカマドなどの実が野鳥に食べられずに残っています。センターの餌場に来る鳥(スズメを除く)の数が少ない原因がもしもありません。